

地方公共団体	石川県加賀市
所在地	石川県加賀市大聖寺南町ニ41番地
地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿	世界的課題である脱炭素社会の実現と地域内経済循環による地域活性化を同時に解決するため、加賀市内におけるエネルギー需要(地消)を地域で生産した(地産)再生可能エネルギーで賄う「加賀市版RE100」を目指す。エネルギーの自給自足ができる強靱な地域社会を構築するとともに、地域内経済循環の実現による地域経済の活性化を図る。
地域の現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少(石川県金沢以南で唯一の消滅可能性都市) ・少子高齢社会 ・資金の市外流出(電気料金だけでも年間約100億円が市外に流出) ・再エネ導入の遅れ ・インフラ老朽化
地域が持つ資源	豊かな自然に恵まれ、豊富な農産物、約4割を占める山林がある。山代、山中、片山津の3温泉があり観光産業のほか、九谷焼、山中漆器など伝統産業と機械工業が発達した地域である。廃棄物焼却施設や市内を流れる河川、農業用排水路での小水力発電、太陽光発電の可能性を持つ敷地や屋根が未利用の状態が残っている。
取組内容	様々な課題に対し、資金の流出を止め、豊富な地域資源を活用し、新たな要素も探し活用するといった地域経済の循環を追及し、地域活性化とRE100を目指すため、加賀市が100%出資する加賀市総合サービス株式会社が電気事業に参入し、「地消・地産」の基盤をつくり、市内の再エネを増やすための投資などを行う。
地域循環共生圏を 実践することで想定 される効果	<p>(環境) CO2の排出量削減</p> <p>(経済) 事業投資による地域内経済循環⇒地域の活性化</p> <p>(社会) 地域雇用の創出。環境ビジネスの発展。消滅可能性都市から持続可能都市への転換とインフラ改善、防災力の向上による強靱な都市への転換</p>

社会課題、地域課題

●世界的な課題

異常気象 地球温暖化

国内の状況

- ・記録的な豪雪、頻発する豪雨
- ・猛暑ならびに度重なる台風



地方自治体からのアプローチが重要！

●加賀市の抱える課題

- 人口減少
石川県金沢以南で唯一の消滅可能性都市
- 少子高齢社会
- 資金の市外流出
- 再エネ導入の遅れ
- インフラ老朽化



加賀市の20年後 不安...

地域内循環を目指す加賀市版RE100

加賀市の施策

●世界的な課題

異常気象や地球温暖化への
地方自治体からのアプローチ

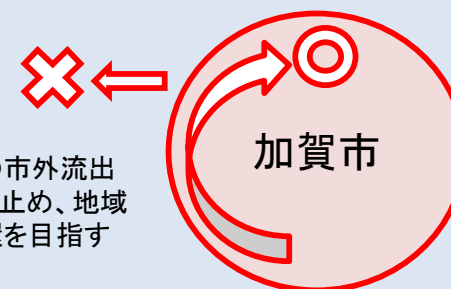


- ・「パリ協定」脱炭素化社会へ
- ・「世界首長誓約/日本」の誓約

●加賀市の課題

人口減少や
資金の市外流出 等
市全体の活力低下

地域内経済循環による
活性化



それぞれの課題の解決に向け

地域内経済循環を目指す『加賀市版RE100』

公共分野、民生分野を問わず、加賀市内におけるエネルギー需要(地消)を100%地域で生産した(地産)再生可能エネルギーで賄うことを目指す。加賀市再エネ100%の実現により、エネルギーの完全な自給自足ができる強靱な地域社会を作り上げるとともに、地域内経済循環の実現による地域経済の活性化を図る。